

基礎目標	地域資産を活かし、未来ヘレガシーをつくる	第1四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	72.0	75.6	△1.8
政策1	①歴史講座等の参加者数（小～高）	人	189	264	274	△141
	②祭りの参加者数（祭礼参加者数）	人	937	1,012	0	—
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	42,808	6,787	△364
政策3	①ランドスケープ計画を手掛ける地区	地区	0	3	1	±0
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	65.8	67.5	+2.5
	②下水道整備率	%	82	88.0	83.8	+1.1
	③地籍調査進捗率	%	19	23.3	23.9	+1.8
政策5	①町公式 SNS の年間「フォロー」数	人	109	160	57	—

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
1 ①「小宅古墳群」に、益子西小(46名)、田野小(26名)、益子小(47名)、七井小(50名)が訪れた。また、益子中(105名)が「益子の歴史」について、ふるさと教育の一環で学習した。益子町内の小中学生が町の歴史等を知る良い機会となった。 ②ましこ検定・ましこ世間遺産実行委員会を開催し、世間遺産のガイドマップを活用しての広報PR事業の充実することを確認した。(5/16) 2 ①かさましこ日本遺産活性化協議会総会を笠間市で行った。(6/21) 計20名参加。 有料ガイド制度運用規則や関連商品販売に関する規則について協議した。 3 ①図書館建設については、役場内の図書館整備検討委員会を実施した。(5/16、5/23、6/21) ①役場周辺土地地区画整理事業では、定期総会において第一回目の仮換地指定を議決し、該当する権利者に仮換地指定通知を行った。ランドスケープ計画では、上大羽地区での意見交換会・円道寺池周辺と前沢町有林に係るワークショップを実施した。 4 ①通学路整備事業の町道155号参考館線は、設計に関する説明の個別訪問に着手した。町道170号線バイパス整備事業では、用地交渉に着手し2名の権利者と契約となった。また、町道6号生田目本郷線においても用地交渉に着手した。橋梁補修事業では、ぐみ川2号橋補修設計業務を発注した。その他の道路改良事業では、事業の前倒し発注を行い、事業執行率は35%となった。 ②塙地区の西谷及び上西谷の一部において、公共下水道供用開始の告示を行った。また、浄化センターの汚泥棟増設工事(機電)試運転確認を行った。 ③継続地区(前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ)の地籍図地籍簿作成業務と新地区(前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ)の測量業務を委託した。 5 ①町公式 SNS への投稿数はフェイスブック32件、インスタグラム4件、Twitter20件で、フォロー増加数はそれぞれ17人、11人、29人の合計57人となった。	1 ① 小宅古墳群その他の文化財を町内小中学生が学習することにより、今後も益子の歴史や文化について学ばせ、益子を愛し、益子町に誇りをもつ人を今後も育てていく。 ②ましこ検定の一般受検者確保の対策として実施曜日や時間の拡幅と観光客向け検定案を検討していく。世間遺産については、今後周遊マップの作成を検討していく。 2 ①有料ガイド実践の場として、首都圏からの誘客を想定した「かさましこツアー」、商品化した9品に加え「かさましこ関連商品」の造成と販売PR企画を展開していく。公式ウェブサイトの充実も図っていく。 3 ①図書館基本計画(案)の見直し作業を行い、パブリックコメントを実施して策定していく。 ①役場周辺土地地区画整理事業では、都市構造再編集中支援事業の令和6年度の概算要望に向けて、都市再生整備計画の作成を進めていく。ランドスケープ計画では、地域を始めとした関係者との意見交換を通じて、理解促進を図り丁寧に進めていく。 4 ①町道155号参考館線は引き続き設計に関する説明を継続し、用地測量業務の発注準備を行う。町道170号線バイパス整備と町道6号線では、用地交渉を進めていく。ぐみ川2号橋では、補修設計業務を予定通り完了すると共に、工事発注準備を進めていく。その他の道路改良事業では、整備必要個所の精査を継続的に行い、引き続き必要性を踏まえて対応していく。 ②下水道築造事業では、今年度工区の積算を完了し、入札準備を進めていく。公営企業会計移行事業では、条例制定に向けた準備を進めていく。 ③発注した地籍図地籍簿作成業務と測量業務について、適正な工程管理に努め、検査を行っていく。 5 ①引き続き町公式 SNS への魅力ある投稿を通して、フォロー数を増やしていく。各媒体でユーザー層が異なることから、幅広い層に向けて町の情報発信を行っていく。

基礎目標	地域資産を活かし、未来ヘレガシーをつくる	第2四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	72.0	75.6	△1.8
政策1	①歴史講座等の参加者数(小～高)	人	189	264	290	△139
	②祭りの参加者数(祭礼参加者数)	人	937	1,012	0	—
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	42,808	10,951	+4,227
政策3	①ランドスケープ計画を手掛ける地区	地区	0	3	3	+2
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	65.8	67.5	+2.5
	②下水道整備率	%	82	88.0	83.8	+1.1
	③地籍調査進捗率	%	19	23.3	23.9	+1.8
政策5	①町公式 SNS の年間「フォロワー」数	人	109	160	132	—

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
1 ①濱田窯長屋門が益子町で2例目の国指定登録有形文化財として登録された。また、益子参考館の上台(県指定文化財)の茅葺屋根に対する修繕費補助の交付決定がなされた。 ②ましこ世間遺産環境整備費補助の支給について制度の適正な審査や事務を行った。 2 ①小学生対象の「かさましこ自由研究コンテスト」を実施したが、益子と笠間から計4点の参加であった。 ①笠間市と益子町それぞれの会場で、日本遺産関係のシンポジウムを計画する。 3 ①図書館基本計画(案)に対するパブリックコメントを実施した。 ①役場周辺土地区画整理事業では、不動産鑑定評価業務や建物等調査積算業務などを発注すると共に、上水道企業団をはじめ各関係機関との打合せを実施した。ランドスケープ計画では、小宅地区で意見交換会を実施した。 4 ①通学路整備事業の町道155号参考館線は、設計に関する説明が完了し、用地測量業務を発注すると共に、町道100号住宅焼却場線においては用地交渉に着手した。また、町道170号線バイパス整備事業の用地交渉では、新たに1名の権利者と契約となった。橋梁補修事業では、ぐみ川2号橋の補修設計業務と積算業務が完了した。その他の道路改良事業では、事業執行率は41%となった。 ②今年度予定していた下水道築造工事の発注は全て完了した。また、浄化センターの汚泥棟増設工事(機電)も検査立会を経て完了した。 ③大沢Ⅱ地区の認証請求書を県に提出した。3地区合同(前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ)の地籍調査事業説明会を開催した。 5 ①町公式 SNS への投稿数はフェイスブック34件、Instagram4件、X(旧Twitter)38件で、フォロワー増加数はそれぞれ32人、61人、39人の合計132人となった。	1 ①所有者と連携を図り、広報協力や修繕費の補助用件について指導を行う。また、ましこ参考館の上台は令和5・6年度の2カ年で修繕していく方向で進める。 ②今年度で助成制度が廃止されるが、その後も地域や団体で自主的に整備してもらうよう協力依頼していく。 2 ①作品は、笠間市で展示した後、益子町でも展示をする。益子での展示は、10/18～11/19を予定している。 ①かさましこシンポジウムの内容は、今後検討していく。 3 ①パブリックコメントを参考意見として計画を作成し、基本設計に向けた準備に着手していく。 ①役場周辺土地区画整理事業では、発注した業務が工期内に完了するよう工程管理を行っていく。また、都市構造再編集中支援事業の令和6年度の本要望に向けて、都市再生整備計画の作成を進めていく。 4 ①町道155号参考館線は用地測量に伴う立会を行っていく。町道100号住宅焼却場線においては、引き続き用地交渉を進めていく。町道170号線バイパス整備事業の用地契約進捗率は25%であり、用地契約の促進を図っていく。ぐみ川2号橋では、補修工事の発注準備を進めていく。 その他の道路改良事業では、整備必要個所の精査を継続的に行い、引き続き工事計画に基づき工事発注を進めていく。 ②下水道築造事業では、発注工事の年度内完了に向け工程管理を行っていく。公営企業会計移行事業では、会計システム設定等を進めていく。 ③前沢Ⅰ、Ⅱ及び上大羽Ⅰ地区の認証請求書の提出に向けて進めていく。また、事業説明会を開催した3地区では一筆地調査の準備を進めて行く。 5 ①引き続き町公式 SNS への魅力ある投稿を通して、フォロワー数を増やしていく。各媒体でユーザー層が異なることから、幅広い層に向けて町の情報発信を行っていく。

基礎目標	地域資産を活かし、未来ヘレガシーをつくる	第3四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	72.0	75.6	△1.8
政策1	①歴史講座等の参加者数(小～高)	人	189	264	297	△132
	②祭りの参加者数(祭礼参加者数)	人	937	1,012	0	±0
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	42,808	15,873	△793
政策3	①ランドスケープ計画を手掛ける地区	地区	0	3	3	+2
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	65.8	67.5	+2.5
	②下水道整備率	%	82	88.0	83.8	+1.1
	③地籍調査進捗率	%	19	23.3	23.9	+1.8
政策5	①町公式 SNS の年間「フォロワー」数	人	109	160	217	—

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
1①「歴史めぐりツアー」には17名が参加し、那須・白河地方の歴史展示を見学した。田野中学生8名が校外学習で「益子の歴史」を学んだ。 ②ましこ検定・世間遺産実行委員会を開催(12/21) ましこ世間遺産環境整備費補助申請13件あり、延べ25件となった。 民族芸能等維持保存交付金申請2件あり、延べ24件となった。 2①かさましこ有料ガイド制度が決定され、認定ガイドの登録調査を行い、希望者は合計16名。 ①かさましこ構成文化財公開を実施した。益子町5カ所で、延べ669名の見学者があった。 3①図書館基本計画のパブリックコメントには75件の意見が寄せられた。 ①図書館整備特別委員会において、中央公民館南側の増設イメージや概算費用について説明した。 3①役場周辺土地区画整理事業では、ましこっこハウス南側の県道取付工事と農業用水路及び水門実施設計業務の入札を行い、業者を決定のうえ発注した。ランドスケープ計画では、山本地区・小宅地区・生田目地区及び円道寺池周辺地区でワークショップを開催した。 4①町道6号生田目本郷線と町道209号生田目宿内線の用地買収が完了した。また、町道100号住宅焼却場線狭あい道路整備事業で1名、町道170号線バイパス整備事業で4名の権利者と新たに用地契約を締結した。橋梁補修事業では、ぐみ川2号橋補修工事を発注した。また、懸案事項であった町道155号参考館線の境界立会を無事終了することができた。その他の道路改良事業では、事業執行率は91%となった。 ②沈砂池ポンプ棟新設工事の電機設備工事が契約となった。令和6年度からの公営企業会計移行に備えて、企業会計システムの導入を進めた。 ③前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ地区の基準点設置が完了した。国の認証承認を経て、山本ⅩⅢ地区の地籍図と地籍簿を法務局へ提出した。 5①町公式 SNS への投稿数はフェイスブック26件、Instagram 5件、X(旧ツイッター)30件で、フォロワー増加数はそれぞれ36人、99人、82人の合計217人となった。	1①「歴史めぐりツアー」については、行先や日程等について参加者の希望調査により検討していく。歴史講座は今後も継続していく。 ②ましこ世間遺産イベントの開催を検討し、参加募集は町内親子向けとし、町内の方に地域資産の魅力の周知をねらい実施する。 2①今後、有料ガイド運用に向けて活動をしていくが、ガイド事業のPRと運営のサポートを行う。 ①文化財公開には多くの関心があり、今後も笠間市と協力して行っていきたい。 3①パブリックコメントや図書館整備特別委員会の意見等も参考にしながら、基本計画に基づく益子ならではの図書館建設を進めていく。 ①役場周辺土地区画整理事業では、発注した業務が工期内に完了するよう工程管理を行っていく。また、都市構造再編集中支援事業の令和6年度の本要望に向けて、都市再生整備計画の作成を進めていく。ランドスケープ計画では、ワークショップの開催を継続し、関係者の理解促進を図っていく。 4①第2四半期から用地交渉に着手した町道100号住宅焼却場線の進捗率は60%となり、今後も契約に向けた交渉を継続していく。 町道170号線バイパス整備事業の用地契約の進捗率は75%であるが、権利者の中に相続手続き中の方がいることから、繰越も見据えて管理を行っていく。 ぐみ川2号橋補修工事については、計画通りに進捗するよう工程管理を行っていく。 ②公営企業会計へスムーズに移行できるよう、企業会計システムの習得をはじめ万全の体制で進めていく。 ③前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ及び大沢Ⅲ地区の地籍図と地籍簿の閲覧を実施していく。山本ⅩⅡ及び大沢Ⅰ地区については法務局への提出を行っていく。 5①引き続き町公式 SNS への魅力ある投稿を通して、フォロワー数を増やしていく。各媒体でユーザー層が異なることから、幅広い層に向けて町の情報発信を行っていく。

基礎目標	地域資産を活かし、未来ヘレガシーをつくる	第4四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	72.0	78.8	+3.2
政策1	①歴史講座等の参加者数（小～高）	人	189	264	297	△132
	②祭りの参加者数（祭礼参加者数）	人	937	1,012	721	+139
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	42,808	23,957	+1,672
政策3	①ランドスケープ計画を手掛ける地区	地区	0	3	3	+2
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	65.8	69.9	+2.4
	②下水道整備率	%	82	88.0	83.8	+1.1
	③地籍調査進捗率	%	19	23.3	25.3	+1.4
政策5	①町公式 SNS の年間「フォロー」数	人	109	160	834	+292

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
1①国指定登録文化財申請していた濱田窯長屋門が国指定登録有形文化財に登録された。 ①ましこ検定受験者は一般が8名（合格6名）、中学生が197名（合格121名）と減少した。 ①益子参考館上台（旧濱田庄司邸離れ）の保存修理事業が完了した。 ②民族芸能継承支援については、地域での継承活動として28団体721名の参加があった。 ②ましこ世間遺産の環境整備費補助申請があり延べ35件あった。 2①かさましこ有料ガイド育成講座を実施し、基礎講座20名、モデルコース化講座12名の参加があった。 ①かさましこ企画展「益子の土瓶と汽車土瓶」を実施し、延べ350名が来場した。 3①施設計画や事業手法などを定めた図書館基本計画を策定した。 ①役場周辺土地地区画整理事業では臨時総会を開催し、令和5年度予算の繰越と令和6年度収支予算を議決した。 ランドスケープ計画では、生田目地区と円道寺池周辺地区でワークショップを開催すると共に、推進委員会に於いて令和5年度の活動状況報告を踏まえて意見交換を実施した。 4①町道100号住宅焼却場線狭隘道路整備事業で新たに1名の権利者と用地契約締結となった。また、町道170号線パイプ整備事業では、新たに2名の権利者と用地契約を締結し、進捗率はそれぞれ80%、88%になった。 橋梁補修事業では、ぐみ川2号橋補修工事が計画通り完成した。 ②区画整理地内の下水道築造工事設計業務が完了した。また、下水処理場整備事業では、沈砂池ポンプ棟新設工事が令和6年度に繰越となった。 ③前沢Ⅲ・上大羽Ⅱ及び大沢Ⅲ地区の地籍図案と地籍簿案の閲覧を実施した。また、前沢Ⅱ地区の認証請求書を県に提出した。 5①町公式 SNS への投稿数はフェイスブック26件、Instagram10件、X24件で、フォロー数はそれぞれ61人、153人、105人。新たに実施したLINEの投稿数は37件で、フォロー数は515人。	1①登録された国指定登録有形文化財の今後については広報協力支援を行っていく。 ①ましこ検定については、実施方法や広報手段など、参加者を増やす手法を検討する。 ①歴史講座等の小中高校生参加者数が前年度から132名減となったが、中学校での実施が1校だったことから、学校に協力を求めている。 ②民族芸能継承支援事業の交付金については、適切に審査し、今後も支援の継続をしていく。 ②ましこ世間遺産環境整備費補助についても、令和6年度以降も継続していく。 2①有料ガイドについては、引き続き育成と実践事業を行っていく。 ①令和6年度も益子においてシンポジウムの開催を計画する。 3①令和6～7年度、図書館建設工事の基本・実施設計を行う。 ①役場周辺土地地区画整理事業では、発注した業務が工期内に完了するよう工程管理を行っていく。また、都市構造再編集中支援事業の令和6年度の本要望に向けて、都市再生整備計画の作成を進めていく。 ランドスケープ計画では、ワークショップの開催を継続し、関係者の理解促進を図っていく。 4①用地契約について、町道100号住宅焼却場線と町道170号線パイプ整備事業ともに、用地契約対象者はあと1名となった。公図訂正等の諸課題を解決し、令和6年度の早い時期に契約締結を行い、完了となる見込みである。また、工事資材の納入遅延等で繰越となった事業については、令和6年度早々に工事が完成となる見込みである。 ②4月からスタートする公営企業会計への移行処理確認を行うと共に、令和5年度事業の打切り決算処理を進めていく。 ③閲覧を実施した前沢Ⅲ・上大羽Ⅱ及び大沢Ⅲ地区の認証請求書の提出に向けて準備を進めていく。 5①引き続き町公式 SNS への魅力ある投稿を通して、フォロー数を増やしていく。各媒体でユーザー層が異なることから、幅広い層に向けて町の情報発信を行っていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課						
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承						
施策	歴史や文化財の活用	進捗状況	100%						
関連する優先目標		関連するSDGs	—						
KPI	歴史講座等の小・中・高校生の参加者数	本年度目標値	264	現状値	297	人	対前年同期比	△132	人
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	①益子町歴史文化基本構想の改正、もしくは文化財保存活用地域計画の作成 ①文化財修理補助事業の遂行、文化財周辺環境整備 ②詳細遺跡分布地図(R4完成) ③歴史探訪ツアーの検討 ④ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ⑤ふるさと教育(社会科校外学習等)の協力		①栃木県文化資源デジタル化協議会(文化財デジタル化保存・活用事業)県指定21件、町指定10件を県に要望 4/8 ⑤地域移動博物館「ホネの博物館～ホネから分かるいきものの暮らし～」県立博物館協議 4/14					
	5月			①文化財保護審議会の開催 5/12 ③④ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 5/16 6名 世間遺産めぐりイベント、ましこ検定の開催について ⑤歴史めぐりツアー 千葉県立関宿博物館他 5/20 15名 ⑤出前講座「小宅古墳群」益西小5/25 46名					
	6月			⑤出前講座「小宅古墳群」田野小6/7 26名 ⑤出前講座「益子の歴史」益子中 6/20 105名 ⑤出前講座「小宅古墳群」益子小 6/27 47名 ⑤出前講座「小宅古墳群」七井小 6/29 50名 ⑤地域移動博物館「ホネの博物館」イベント情報公開 6/30					
	7月	①益子町歴史文化基本構想の改正、もしくは文化財保存活用地域計画の作成 ①文化財修理補助事業の遂行、文化財周辺環境整備 ②詳細遺跡分布地図(R4完成) ③歴史探訪ツアーの検討 ④ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ⑤ふるさと教育(社会科校外学習等)の協力		⑤出前講座「益子の歴史」七井地区高齢者学級 7/21 22名 ⑤歴史講座「丸山瓦全が益子に残したもの」7/29 28名					
	8月			①国指定登録有形文化財登録(濱田窯長屋門) 8/7 ①文化財修繕(参考館上台茅葺)交付決定 8/5 ⑤地域移動講座「ホネの勉強会」8/5 16名					
	9月			①益子参考館上台(旧濱田庄司邸離れ)保存修理事業交付決定 県補助8/1 町補助9/26 ⑤地域移動博物館「ホネの博物館」展示 7/29-9/3 405名					
	10月	①益子町歴史文化基本構想の改正、もしくは文化財保存活用地域計画の作成 ①文化財修理補助事業の遂行、文化財周辺環境整備 ②詳細遺跡分布地図(R4完成) ③歴史探訪ツアーの検討 ④ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ⑤ふるさと教育(社会科校外学習等)の協力		③歴史めぐりツアー 那須・白河地方の歴史展示の見学 10/21 17名					
	11月			⑤校外学習「益子の歴史」学習会(田野中) 11/30 7名					
	12月			③④ましこ検定・世間遺産実行委員会 12/21 5名 世間遺産めぐりイベント、ましこ検定の開催について ⑤校外学習「土器・陶磁器について」(栃木県窯業指導所伝修生)12/20 9名					
	1月	①益子町歴史文化基本構想の改正、もしくは文化財保存活用地域計画の作成 ①文化財修理補助事業の遂行、文化財周辺環境整備 ②詳細遺跡分布地図(R4完成) ③歴史探訪ツアーの検討 ④ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ⑤ふるさと教育(社会科校外学習等)の協力		なし					
	2月			②文化財防火訓練 6箇所 2/4 ④ましこ検定(一般の部)2/24.25 受検者8名 合格6名					
	3月			①町文化財保護審議会 3/8 町指定文化財登録について(八雲神社本殿)他 ①郡文化財保護審議会 3/19 冊子「芳賀の文化財」編集 ①益子参考館上台(旧濱田庄司邸離れ)保存修理事業完了 3/31 ④ましこ検定(中学生の部)3/13.15 受検者197名 合格121名					

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1四半期	①益子町歴史文化基本構想策定から5年が経過し、内容の見直し・更新を行う時期となっている。あわせて文化庁においては“文化財の保存・活用の一層の促進”を目的とした新たな計画「文化財保存活用地域計画」作成について通達が来ている。活性地域計画を策定することで補助対象事業の拡張を図れることもあり、現基本構想の改定を行うか、新たな活用計画作成かを、文化財保護審議会にて検討していくことになる。 ②埋蔵文化財詳細地図は令和4年度で完成。今後においては、埋蔵文化財保護行政の基礎資料として活用していく。 ④ましこ検定については、一般受検者数の減少傾向が見られることから、受験日の曜日や時間帯の拡幅や、観光客向け検定の実施案など検討された。今後実施可能な手法を検討していく。 ④出前講座については、町内の全小中学校を対象としたふるさと教育として、主に地元の文化財や遺跡を中心とした講義を実施することができた。ひきつづき実施していきたい。
第2四半期	①濱田窯長屋門が町内では「ましこ悠和館」に次いで2件目の国指定登録有形文化財に登録された。今後については、所有者と連携を図り、広報協力や、修繕費補助(国補助)要件の適切な指導等を行っていく。 ①益子参考館上台(県指定文化財)の茅葺屋根に対する修繕費補助(県補助)交付決定がなされた。令和5.6年度の2カ年計画で修繕を計画しており、その1年目にあたる。県補助交付決定を受けて、町補助金の予算化を図った。 ⑤栃木県立博物館共催事業「移動博物館」を開催した。テーマは「ホネの博物館」。開催期間は7/29-9/3。来場者数は延べ405名だった。来場者アンケートでは、「脊椎動物のはく製や、骨格標本を近くで見ることが出来て興味深かった」との感想もあり、催事として講評だった印象。今後も、継続したいと考える。
第3四半期	③歴史めぐりツアーについては日帰りでのバスツアー形式で開催しているが、研修先の範囲が限られるため、日帰りや宿泊の別、行先希望について参加者の希望調査などを行い検討していきたい。
総括(第4四半期含)	①益子町歴史文化基本構想計画見直しのための推進委員会を開催することが出来なかった。次年度は推進委員会を開催し、現基本構想の改定を行うか、新たな活用計画作成かを検討し、策定までの長期スケジュールを協議していく。 ②埋蔵文化財詳細地図は令和4年度で完成。今後においては、埋蔵文化財保護行政の基礎資料として活用していく。 ④ましこ検定については、一般受検者数の減少傾向が見られることから、実施の仕方(オンライン受検の検討)や、広報手段を再検討し、参加者を増やす手法を検討していく。 ④町内の全小中学校を対象としたふるさと教育として、主に地元の文化財や遺跡を中心とした講義を継続していく。KPI(歴史講座等の小中高校生の参加者数)が前年度から132名減となったが、中学校3校中実施出来たのが1校だったため、学校への協力を求めるとともに、一般参加者を増やす企画を検討する。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 文化財はなくなったら復活させることはとても難しいので、今までどおりの支援が必要と考えます。 また、出前講座や歴史ツアーなど、「益子の貴重な文化財」を活かしたものをこれからも続けてほしいと思います。	指定文化財に対する適正な支援を継続すると共に、所有者からの要望・相談に対する適切な指導や助言ができるよう努める。 出前講座についても町内小中学生を中心として、文化財を活用した郷土学習を今度も継続していく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】				課局名	生涯学習課						
基礎目標		4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる		政策	歴史や文化財、風土の活用と継承						
施策		風習の継承		進捗状況	100%						
関連する優先目標		—		関連するSDGs	—						
KPI		祭りの参加者数(祭礼参加者数)		本年度目標値	1,012	現状値	721	人	対前年同期比	139	人
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果						
主な取組内容	4月	①ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ①ましこ世間遺産を活用した散策ルート造成 ②ましこ世間遺産環境整備費補助 ②民俗芸能継承支援の促進 ③メディア・SNS等を活用した広報PR			②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 1件 ③NHK大河「どうする家康」出演者等身大パネル展示 益子駅舎 4/28-5/3						
	5月				①世間遺産実行委員会の開催 5/16 6名 ②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 1件(延べ2件) ②民俗芸能等維持保存交付金申請 21件						
	6月				なし						
	7月	①ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ①ましこ世間遺産を活用した散策ルート造成 ②ましこ世間遺産環境整備費補助 ②民俗芸能継承支援の促進 ③メディア・SNS等を活用した広報PR			②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 1件(延べ3件)						
	8月				②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 3件(延べ6件) ②民俗芸能等維持保存交付金申請 1件(延べ22件)						
	9月				②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 6件(延べ12件)						
	10月	①ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ①ましこ世間遺産を活用した散策ルート造成 ②ましこ世間遺産環境整備費補助 ②民俗芸能継承支援の促進 ③メディア・SNS等を活用した広報PR			なし						
	11月				②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 11件(延べ23件)						
	12月				①ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 12/21 5名 世間遺産めぐりイベント、ましこ検定の開催について ②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 2件(延べ25件) ②民俗芸能等維持保存交付金申請 2件(延べ24件)						
	1月	①ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ①ましこ世間遺産を活用した散策ルート造成 ②ましこ世間遺産環境整備費補助 ②民俗芸能継承支援の促進 ③メディア・SNS等を活用した広報PR			①ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 1/24 4名 ②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 3件(延べ28件)						
	2月				なし						
	3月				①益子世間遺産サイクルツアー(浅間塚古墳、西坪古墳、小宅古墳群)参加者9名 ②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 7件(延べ35件) ②民俗芸能等維持保存事業(町指定10件、未指定18件)民俗芸能参加者数721名 ③ましこ世間遺産パネル展示(道の駅ましこ)3/2-17						

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①ましこ世間遺産については、平成29年度から令和2年度までの4年間で57件が認定されている。現在は認定制度を休止し、昨年度作成した「ましこ世間遺産ガイドマップ」を活用しての広報PR事業を充実させていく。今年度の新たな取組みとして、より多くの方が気軽に周遊できる環境づくりを整えてるための手法として周遊マップの作成を検討する。 ①ましこ世間遺産環境整備費補助の支給について、適正な審査・事務処理を行う。 ②民俗芸能等維持保存交付金交付の支給について、適正な審査・事務処理を行う。
第2 四半期	①ましこ世間遺産環境整備費補助の支給について、適正な審査・事務処理を行う。
第3 四半期	①ましこ世間遺産環境整備費補助の支給について、適正な審査・事務処理を行う。 ①世間遺産めぐりイベントの開催について検討することができた。参加募集は、町内向け親子参加とし、町内の方に益子の地域資産の魅力を知ってもらうことを目的として実施する方向。
総括 (第4 四半期 含)	①ましこ世間遺産環境整備費補助金の交付期間をR6.3.31から3年延長する交付要綱の一部改正を行い、来訪者が快適に見学できる環境づくりの充実を図っていく。 ②民俗芸能等維持保存交付金交付の支給について、適正な審査・事務処理を行う。 ③ましこ世間遺産MAPに季節ごとの花を楽しめる周遊コース紹介する「春と秋の花のビューポイント」ページを追加し、世間遺産の楽しみ方を広報することができた。ましこ世間遺産MAP800冊増刷。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 ましろ検定・世間遺産・日本遺産については、散策ルートを作ったりツアーをしたりするなど、参加しやすい形を是非考えていただきたい。 (例:ましろ検定(簡易版)・・・問題を簡単にして陶器市に 来た方に挑戦してもらう)	世間遺産や日本遺産構成文化財を活用したツアー造成を引き続き実施していきたい。参加を促すため、参加申込方法や、移動手段の改善などを検討していく。 ましろ検定の実施方法については、R6年度よりデジタル化を推進し、一般検定の他に、観光客向け「益子クイズ」の実施などを検討していきたい。

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】				課局名	生涯学習課					
基礎目標		4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる		政策	日本遺産を通じた地域活性化の推進					
施策		日本遺産の普及・啓発、周遊ルートなどの環境整備		進捗状況	100%					
関連する優先目標		—		関連するSDGs	—					
KPI		構成文化財の訪問者数		本年度目標値	42,808	現状値	23,957	人	対前年同期比	+1672
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比	
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比	
①年間計画(スケジュール・工程)				②実施内容・実績・成果						
主な 取組 内容	4月	①有料ガイド化推進 ②ラーニングパッケージ・体験ツーリズム推進 ③シンポジウムの開催 ④関連商品開発促進 ⑤広報・案内板等の設置等の促進			⑤構成文化財の訪問者数 4月/1,534名					
	5月				⑤構成文化財の訪問者数 5月/3,082名					
	6月				○かさましこ日本遺産文化振興ワーキング会議 6/7 5名 ○かさましこ日本遺産総会 6/21 20名 ①有料ガイド制度運用規則について協議(笠間観光協会) 6/13 ④関連商品販売に関する規則について協議 ⑤構成文化財の訪問者数 6月/1,795名					
	7月	①有料ガイド化推進 ②ラーニングパッケージ・体験ツーリズム推進 ③シンポジウムの開催 ④関連商品開発促進 ⑤広報・案内板等の設置等の促進			⑤かさましこ自由研究(小5.6対象)募集開始7/18-9/6 ⑤かさましこ自由研究 お助け学習「釉薬の不思議」7/27 参加4名 ⑤構成文化財の訪問者数 7月/1,114名					
	8月				⑤かさましこ自由研究コンテスト お助け学習「食いしん坊だった!?濱田庄司」8/6 参加4名 ⑤構成文化財の訪問者数 8月/1,629名					
	9月				⑤かさましこ自由研究コンテスト 9/6 〆切 出品4点 町長賞1点/教育長賞1点/優良賞2点 ⑤構成文化財の訪問者数 9月/1,797名					
	10月	①有料ガイド化推進 ②ラーニングパッケージ・体験ツーリズム推進 ③シンポジウムの開催 ④関連商品開発促進 ⑤広報・案内板等の設置等の促進			①かさましこ文化財公開 10/28.29 延べ669名 ⑤笠間市「笠間ロマン」日本遺産PR出展 10/7.8.9 ⑤かさましこ自由研究コンテスト出品作品展示(中央公民館ロビー) 10/17～11/19 ⑤構成文化財の訪問者数 10月/1,826名					
	11月				⑤全国日本遺産サミットin八王子出展 11/3.4.5 ⑤益子陶器市出展 11/4.5.6 ⑤かさましこ「食のコラボ」in道の駅ましこ 11/19 来場約300名 ⑤構成文化財の訪問者数 11月/3,789名					
	12月				②かさましこ日本遺産バスツアー 12/3 10名 ③かさましこシンポジウムin益子の開催日決定 2/24開催 ⑤構成文化財の訪問者数 12月/1,633名					
	1月	①有料ガイド化推進 ②ラーニングパッケージ・体験ツーリズム推進 ③シンポジウムの開催 ④関連商品開発促進 ⑤広報・案内板等の設置等の促進			①かさましこ有料ガイド育成講座(基礎講座)①1/21 8名 ②1/28 16名 ④かさましこ「食のコラボ」in道の駅かさま 1/13 来場約300名 ④かさましこ「食のコラボ」in道の駅ましこ 1/20 来場約300名 ⑤構成文化財の訪問者数 1月/1,526名					
	2月				①かさましこ有料ガイド育成講座(基礎講座)③2/11 12名 ①かさましこ有料ガイド育成講座(モデルコース化講座)①2/18 2名 ②2/25 10名 ②かさましこ日本遺産バスツアー 2/18 ②かさましこ日本遺産1泊2日バスツアー 2/24.25 ③かさましこシンポジウム関連企画展「益子の土瓶と汽車土瓶」 2/17-3/17 延べ約350名来場 ⑤構成文化財の訪問者数 2月/2,003名					
	3月				③かさましこシンポジウム関連企画展「益子の土瓶と汽車土瓶」ギャラリートーク 3/3.17 23名 ⑤構成文化財の訪問者数 3月/2,229名					

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①有料ガイド制度の運用に向けて、関係機関と調整を進めていく。 ②有料ガイドの実践の場として、首都圏からの誘客を想定した「かさましこツアー」の実施を検討。歴史・文化に興味を示す顧客に対して体験メニューを織り交ぜたラーニングパッケージ商品の造成を検討する。 ③笠間市・益子町それぞれの会場にて、シンポジウム開催を計画する。 ④昨年度までに商品化された9品に加え、今年度も継続し「かさましこ関連商品」の造成と、販売PR企画を展開したいと考える。 ⑤かさましこ日本遺産の広報手段のひとつである公式ウェブサイトの充実を図っていききたい。
第2 四半期	③笠間市・益子町それぞれの会場にて、シンポジウム開催を計画する。益子会場2/10(土)で調整を進める。 ⑤小学校の夏休み期間に合わせて、かさましこ自由研究コンテストを実施。子どもたちの個々の目線で「かさましこ」に関連した研究を行ってもらうための、お助け学習「釉薬の不思議」「食いしん坊だった!?濱田庄司」も開催し、かさましこの歴史に触れる機会を提供することができた。自由研究は4点が提出され審査が行われた。笠間市での展示9/12-10/16が終えると、益子町で10/18-11/19の期間展示されることとなる。
第3 四半期	①有料ガイド制度が決定され、昨年度までの有料ガイド講座受講者に対し、認定ガイドの登録調査を行った。結果、笠間市と益子町合わせて対象32名中、認定ガイド登録希望16名(笠間市8名、益子町8名)であり、今後の有料ガイド運用に向けて活動していただくことになる。事務局としては、ガイド事業のPRと、運用がスムーズに行えるようサポートを行っていく。 ⑤かさましこイベントへの出展2件(サミット、陶器市)、自主PRイベント(食コラボ)の開催により、一般の方へかさましこをPRする機会が出来た。今後も引き続き、対外的な広報PRを進めていく。
総括 (第4 四半期 含)	①有料ガイドの運用についてはかさましこ日本遺産活性化協議会と笠間市・益子町の両観光協会事務局が連携し、ガイドの育成と、実践事業を継続していく。新規の有料ガイド育成も継続し実施していく。 ②有料ガイドの実践の場として、「かさましこツアー」を実施することが出来た。ツアー参加者アンケートでは、「食」の充実のほか、歴史・文化ガイドによる現地見学が講評だった。かさましこツアーは今後毎年開催を予定しており、内容の充実を図り来訪者の満足度を高め、リピーターを増やしていくよう取り組んでいく。 ③笠間市・益子町それぞれの会場にて、シンポジウム開催を計画する。 ④昨年度までに商品化された9品に加え、今年度も継続し「かさましこ関連商品」の造成と、販売PR企画を展開したいと考える。 ⑤かさましこ日本遺産の広報手段のひとつである公式ウェブサイトの充実を図っていききたい。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 ましこ検定・世間遺産・日本遺産については、散策ルートを作ったりツアーをしたりするなど、参加しやすい形を是非考えていただきたい。 (例:ましこ検定(簡易版)…問題を簡単にして陶器市に来た方に挑戦してもらう)	世間遺産や日本遺産構成文化財を活用したツアー造成を引き続き実施していきたい。参加を促すため、参加申込方法や、移動手段の改善などを検討していく。 ましこ検定の実施方法については、R6年度よりデジタル化を推進し、一般検定の他に、観光客向け「益子クイズ」の実施などを検討していきたい。

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】			課局名	農政課							
基礎目標			4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	ランドスケープデザインと連携した地域づくり						
施策			風景・デザイン・利便性が調和する「ましこならではの」の地域づくり	進捗状況	100%						
関連する優先目標			2「住みたいまち」	関連するSDGs	11まちづくり						
KPI			ランドスケープ計画を手掛ける地区	本年度目標値	3	現状値	3	地区	対前年同期比	+2	
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
			①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な 取組 内容	4月	④円道寺池、大郷戸ダム周辺緑地の保全活動			④4/19 大郷戸ダム状況確認						
	5月				特になし						
	6月				④6/16 大郷戸ダム状況確認 ④6/30 大郷戸ダム周辺草刈り						
	7月	④円道寺池、大郷戸ダム周辺緑地の保全活動			特になし						
	8月				④8/8 大郷戸ダム、円道寺池状況確認						
	9月				④9/4 大郷戸ダム、円道寺池状況確認						
	10月	④大郷戸ダム周辺緑地の保全活動			④10/13 大郷戸ダム周辺草刈り						
	11月				特になし						
	12月				④12/28 大郷戸ダム状況確認						
	1月	④大郷戸ダム周辺緑地の保全活動			④1/17 大郷戸ダム状況確認						
	2月				特になし						
	3月				④3/27 大郷戸ダム状況確認						

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	大郷戸ダムの景観保全については、引き続きシルバー人材センターへ委託し、ダム周辺緑地の保全に努める。
第2 四半期	大郷戸ダムの景観保全については、引き続きシルバー人材センターへ委託し、ダム周辺緑地の保全に努める。
第3 四半期	大郷戸ダムの景観保全については、引き続きシルバー人材センターへ委託し、ダム周辺緑地の保全に努める。
総括 (第4 四半期 含)	大郷戸ダムの景観保全については、引き続きシルバー人材センターへ委託し、ダム周辺緑地の保全に努める。 景観保全に関してはおおむね達成できた。 イノシシが侵入した形跡があった個所には看板等により注意喚起を行う。 また親水公園を含め、大郷戸ダムの景観等をHP、SNSでPRし、関係人口の増加に寄与して行く。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 なし	総括(第4四半期含)のとおり進めていく。また、円道寺池については、令和6年度は国の制度を利用し、実施設計を行っていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】			課局名	建設課							
基礎目標			4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	ランドスケープデザインと連携した地域づくり						
施策			風景・デザイン・利便性が調和する「ましこならではの」地域づくり	進捗状況	100%						
関連する優先目標			2「住みたいまち」	関連するSDGs	11まちづくり						
KPI			ランドスケープ計画を手掛ける地区	本年度目標値	3	現状値	3	地区	対前年同期比	+2	
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
			①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	①役場周辺土地区画整理事業 総会の開催、役員会開催、業務委託 ②都市再生整備計画事業、空家等対策計画 都市再生整備計画作成準備、空家等対策計画推進 ●ランドスケープ計画推進事業 ワークショップ等開催			①第20回役員会(総会について)、定期監査(4/17) 上水道企業団との打合せ(4/25) ②都市構造再編集集中支援事業打合せ(4/11) 国庫補助事業ヒアリング(4/14) ●前沢町有林新緑イベント打合せ(4/18)						
	5月				①第8回定期総会、第21回役員会(5/21) ②空家対策打合せ(5/15)、R6概算要望ヒアリング(5/23) ●前沢町有林現地調査(5/10)						
	6月				①第22回役員会(6/20)、業務委託入札(6/30) ②都市構造再編集集中支援事業打合せ(6/7) ●上大羽意見交換会(6/1)、円道寺池周辺WS(6/3)、前沢町有林WS(6/24)						
	7月	①役場周辺土地区画整理事業 総会の開催、役員会開催、業務委託 ②都市再生整備計画事業、空家等対策計画 都市再生整備計画作成準備、空家等対策計画推進 ●ランドスケープ計画推進事業 ワークショップ等開催			①上水道企業団との打合せ(7/19)、真岡警察署との打合せ(7/20) ②新規地区ヒアリング(7/19) ●小宅地区関係者との打合せ(7/28)						
	8月				①県警本部交通規制課との打合せ(8/9)、第23回役員会(8/22)、下水道整備打合せ(8/29)、工事入札(8/31)、宇都宮税務署との打合せ(8/31)						
	9月				①不動産鑑定打合せ(9/12)、水路工事打合せ(9/19)、第24回役員会(9/19)、東電とNTTとの打合せ(9/20) ●前沢町有林の看板設置、円道寺池周辺散策路整備						
	10月	①役場周辺土地区画整理事業 総会の開催、役員会開催、業務委託 ②都市再生整備計画事業、空家等対策計画 都市再生整備計画作成準備、空家等対策計画推進 ●ランドスケープ計画推進事業 ワークショップ等開催			①上水道企業団との打合せ(10//17)、第25回役員会(10/24)、評価委員会(10/25)、工事入札(10/27)、下水道整備打合せ(10/25) ②無電柱化WG(10/23)						
	11月				①水利組合との打合せ(11/7)、業務委託入札(11/24) ②国への要望活動(11/14)、かましんとの打合せ(11/28) ●山本地区WS(11/6)、小宅地区WS(11/6)、生田目WS(11/7)						
	12月				①進行管理ヒアリング(12/5) ②下水道整備打合せ(12/13)、無電柱化WG(12/15) ●アカマツ復活プロジェクト(12/18)、山本地区WS(12/21)、小宅地区WS(12/21)、円道寺池周辺WS(12/22)						
	1月	①役場周辺土地区画整理事業 総会の開催、役員会開催、業務委託 ②都市再生整備計画事業、空家等対策計画 都市再生整備計画作成準備、空家等対策計画推進 ●ランドスケープ計画推進事業 ワークショップ等開催			①水利組合との打合せ(1/17)、第26回役員会(1/23) ②県都市計画課打合せ(1/29)						
	2月				①上水道企業団との打合せ(2/14)、第27回役員会(2/19) ●アカマツ復活プロジェクト(2/5)						
	3月				①水利組合との打合せ(3/5)、水利組合との打合せ(3/13) ②改正空家特措法説明会(3/4)、県との策定協議(3/19) ●生田目地区WS(3/11)、円道寺池周辺地区WS(3/12～13)、ランドスケープ計画推進委員会議(3/27)						

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①業務委託については関係者及び関係機関と連絡調整を行い、確実に工期内に完了するよう進めていく。 ②都市構造再編集集中支援事業の令和6年度の概算要望に向けて、関係課と協議の上、都市再生整備計画の作成を進めていく。 空家等対策計画に基づき、関係課と連携しながら、推進していく。 ●ランドスケープ計画は、関係者と協議しながら、計画に対する地域の人たちの理解を得ることが重要なため、ワークショップ等を通して、理解を深めていく。
第2 四半期	①業務委託については関係者及び関係機関と連絡調整を行い、確実に工期内に完了するよう進めていく。 ②都市構造再編集集中支援事業の令和6年度の本要望に向けて、関係課と協議の上、都市再生整備計画の作成を進めていく。 空家等対策計画に基づき、関係課と連携しながら、推進していく。 ●ランドスケープ計画は、関係者と協議しながら、計画に対する地域の人たちの理解を得ることが重要なため、ワークショップ等を通して、理解を深めていく。
第3 四半期	①業務委託、工事については関係者及び関係機関と連絡調整を行い、確実に工期内に完了するよう進めていく。 ②都市構造再編集集中支援事業の令和6年度の本要望に向けて、関係課と協議の上、都市再生整備計画の作成を進めていく。 空家等対策計画に基づき、関係課と連携しながら、推進していく。 ●ランドスケープ計画は、関係者と協議しながら、計画に対する地域の人たちの理解を得ることが重要なため、ワークショップ等を通して、理解を深めていく。
総括 (第4 四半期 含)	①業務委託、工事については関係者及び関係機関と連絡調整を行い、確実に工期内に完了するよう進めていく。 ②都市構造再編集集中支援事業の令和6年度の本要望に向けて、関係課と協議の上、都市再生整備計画の作成を進めていく。 空家等対策計画に基づき、関係課と連携しながら、推進していく。 ●ランドスケープ計画は、関係者と協議しながら、計画に対する地域の人たちの理解を得ることが重要なため、ワークショップ等を通して、理解を深めていく。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 なし	①土地区画整理事業 計画に基づいて、水路・上下水道等の工事を実施。電線共同溝事業に関しても、参画事業体と連携し配線計画等を進める。物件(家屋)移転に関しては、取り壊しまで長期間を要するので、早期に権利者へ働きかけを行う。 ②都市構造再編集中支援事業 都市計画道路3・5・7益子石並通りの整備については、用地交渉の難航が想定される。事業協力に関する地権者への働きかけを定期的に行い、まずは誠実な姿勢で信頼を得て、良好な人間関係の構築に務めることが第一歩と考える。 ③ランドスケープ計画推進 益子町の大きな魅力の一つである里山景観について、太陽光発電施設との共存について課題がある。太陽光設置条例ではランドスケープ計画エリアは、抑制区域としてうたわれているが、禁止までの法的拘束力がないことから、抑制のお願いをしても申請され、設置に至るケースがほとんどである。危機意識をもって、早期に里山景観保全に取り組む必要がある。

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】			課局名	生涯学習課						
基礎目標		4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	ランドスケープデザインと連携した地域づくり						
施策		風景・デザイン・利便性が調和する「ましこならではの」の地域づくり	進捗状況	100%						
関連する優先目標		2「住みたいまち」	関連するSDGs	11まちづくり						
KPI	ランドスケープ計画を手掛ける地区		本年度目標値	3	現状値	3	地区	対前年同期比	+2	
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	②関係機関との調整 ②図書館基本計画の見直し			②補助事業打合せ(県) 4/11 ②関係機関打合せ(県、関係業者等)					
	5月				②第5回図書館整備検討委員会 5/16 ②第6回図書館整備検討委員会 5/23 ②補助事業概算要望ヒアリング 5/23 ②関係機関打合せ(県、土木事務所、建設技術センター、関係業者等)					
	6月				②図書館事業打ち合わせ(関係課) 6/7 ②第7回図書館整備検討委員会 6/21					
	7月	②関係機関との調整 ②図書館基本計画(案)パブリックコメント			②第8回図書館整備検討委員会 7/24 ②補助事業概算要望資料作成 ②関係機関打合せ(県、建設技術センター、関係業者等)					
	8月				②図書館基本計画(案)パブリックコメント 8/15～9/15 ②関係機関打合せ(県、建設技術センター、関係業者等)					
	9月				②図書館基本計画(案)パブリックコメント 9/15まで ②図書館基本計画(案)パブリックコメント意見集計 ②関係機関打合せ(県、建設技術センター、関係業者等)					
	10月	②関係機関との調整 ②図書館基本計画(案)パブリックコメント			②第9回図書館整備検討委員会 10/26 ②図書館整備特別委員会 10/27 ②図書館基本計画(案)個別説明 10/31 ②関係機関打合せ(県、建設技術センター、関係業者等)					
	11月				②関係機関打合せ(県、建設技術センター、関係業者等)					
	12月				②図書館基本計画(案)パブリックコメント結果公表 12/11					
	1月	②関係機関との調整 ②図書館基本計画策定			②第10回図書館整備検討委員会 1/25 ②庁議(図書館基本計画策定承認) 1/25					
	2月				②図書館整備特別委員会 2/1 ②関係機関打合せ(県、建設技術センター、関係業者等)					
	3月				②第11回図書館整備検討委員会 3/19 ②図書館整備特別委員会 3/28 ②関係機関打合せ(県、建設技術センター、関係業者等)					

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第 1 四 半 期	②図書館建設予定地が町民センター付近になったことから、関係機関との調整及び基本計画の見直し作業を行う。基本計画は今後パブリックコメントを実施し、住民からの意見等を伺った上で9月の策定を目指す。建設にあたっては、法的要件等が多々あるため、関係機関等との連携を図り、確認すべき事項を整理する必要がある。
第 2 四 半 期	②図書館整備検討委員会において作成された図書館基本計画(案)についてパブリックコメントを実施した。住民から寄せられた意見等を集約し、早期に基本計画を策定する。また、図書館の建設に向けて、関係機関と打ち合わせを行い、要件や手続等の確認を行った。
第 3 四 半 期	②図書館基本計画(案)についてはパブリックコメントを実施した結果、75件の意見が寄せられた。また、図書館整備特別委員会において、中央公民館南側の増築イメージ及び概査費用について説明を行った。
総 括 (第 4 四 半 期 含)	②1月25日の庁議により図書館基本計画の策定が承認された。令和6年度から基本及び実施設計を進めるため、設計費の予算化や業者選定方法の検討を行った。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総 括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 図書館整備事業については、進捗状況などを町民がわかるような形で示すことで、それに対する町民の意見も吸い上げられると考えます、今まで気付かなかったプラスαが見えてくるのではないのでしょうか。莫大なお金がかかる事業です。より多くの町民が納得できるような図書館づくりを期待します。	図書整備事業については、より多くの町民の意見を聞くためにワークショップを実践し、基本、実施設計作成に反映していく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】			課局名	建設課						
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる		政策	快適で便利に暮らせる基盤づくりと土地利用の推進						
施策	安全に配慮した快適に移動できる道路の整備		進捗状況	100%						
関連する優先目標	—		関連するSDGs	11まちづくり						
KPI	重要通学路の安全・安心な道路の整備率		本年度目標値	65.8	現状値	69.9(R5末)	%	対前年同期比	+2.4	
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	①町道155号線通学路整備事業、町道100号線狭あい道路整備事業 町道155号線 設計説明会着手		①国補助金申請を行った。 ②国補助金申請を行った。町道170号用地交渉【着手】 ③国補助金申請を行った。ぐみ川2号橋補修設計業務【発注】 ●工事1件【発注】(事業執行率3%)						
	5月	②町道170号線バイパス整備事業、町道6号線道路改良事業 町道170号線 用地交渉着手		①町道155号線設計説明個別訪問【着手】、R6国補助金要望実施 ②町道6号線用地交渉【着手】、R6国補助金要望実施 ③R6国補助金要望実施 ●工事1件【発注】(事業執行率8%)						
	6月	③橋梁補修事業 橋梁点検業務発注、ぐみ川2号橋補修設計業務発注 ●その他道路改良事業 事業執行率25%以上		①町道155号設計説明(進捗率75%) ②町道170号用地契約2名(進捗率14%) ③橋梁点検業務【発注】 ●工事2件【発注】(事業執行率35%)						
	7月	①町道155号線通学路整備事業、町道100号線狭あい道路整備事業 町道155号線 設計説明会完了、町道100号線 用地交渉着手		①町道155号設計説明【完了】、町道100号線税務署協議【着手】 ②町道170号用地契約1名(進捗率19%)						
	8月	②町道170号線バイパス整備事業、町道6号線道路改良事業 町道170号線 用地契約50%以上 ③橋梁補修事業 ぐみ川2号橋補修工事発注準備		①町道155号用地測量業務【発注】、町道100号線税務署協議【着手】 ②町道170号用地契約1名(進捗率25%) ③ぐみ川2号橋設計業務【完了】、ぐみ川2号橋積算業務【発注】 ●工事1件【発注】(事業執行率41%)						
	9月	●その他道路改良事業 事業執行率50%以上		①町道100号税務署協議【完了】、町道100号線用地交渉【着手】 ③ぐみ川2号橋積算業務【完了】 ●町道209号用地契約1名						
	10月	①町道155号線通学路整備事業、町道100号線狭あい道路整備事業 町道155号線 境界立会実施、町道100号線 用地契約40%以上		①町道100号用地契約1名(進捗率20%) ②町道6号用地契約1名【100%完了】、町道170号用地契約4名(進捗率50%) ③ぐみ川2号橋補修工事【発注】 ●町道209号用地契約1名【100%完了】						
	11月	②町道170号線バイパス整備事業、町道6号線道路改良事業 町道170号線 用地契約75%以上、町道6号線 用地契約100%		①町道155号線 境界立会【完了】 ●工事発注6件【発注】(事業執行率91%)						
	12月	③橋梁補修事業 ぐみ川2号橋補修工事発注 ●その他道路改良事業 事業執行率75%以上、町道209号用地契約100%		①町道100号用地契約2名(進捗率60%) ②町道170号用地契約4名(進捗率75%)						
	1月	①町道155号線通学路整備事業、町道100号線狭あい道路整備事業 町道100号線 用地契約80%以上		③橋梁点検業務完成 ●工事1件【発注】(事業執行率98%)						
2月	②町道170号線バイパス整備事業、町道6号線道路改良事業 町道170号線 用地契約80%以上 ③橋梁補修事業 橋梁点検業務完成、ぐみ川2号橋補修工事完成		①町道100号用地契約1名(進捗率80%) ②町道170号用地契約1名(進捗率81%) ●工事1件【発注】(事業執行率100%)							
3月	●その他道路改良事業 事業執行率90%以上		②町道170号用地契約1名(進捗率88%) ③ぐみ川2号橋補修工事完成							

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1四半期	①事業は計画通り進捗している。次期四半期は引き続き町道155号の設計説明を行い、用地測量業務の発注準備を行う。また、町道100号について用地交渉に着手する。ただし、町道155号・町道100号共に困難な交渉相手がいるためスピード感より丁寧な説明・交渉を重視して進める。 ②事業は計画通り進捗している。次期四半期は、引き続き町道170号の用地交渉および町道6号線の用地交渉を進める。 ③事業は計画通り進捗している。次期四半期はぐみ川2号橋補修工事の設計を完了し、工事発注準備を進める。 ●事業は計画通り進捗している。次期四半期も工事発注予定に基づき工事発注を進める。
第2四半期	①事業は計画通り進捗している。次期四半期は町道155号線の用地立会を行う。また、町道100号線について用地交渉を引き続き進める。 ②町道170号線の用地契約は進捗率25%であり、用地に関しての課題が多く、交渉に時間を要している。次期四半期では町道170号線について、残地買収や機能補償工事などによる課題解決を含めて交渉を行い、用地契約の促進を図りたい。 ③事業は計画通り進捗している。 ●事業は概ね計画通り進捗しているが、緊急的に災害防止のための擁壁工事をする箇所が発生したため、9月に当初の工事計画を見直した所である。次期四半期は見直した工事計画に基づき工事発注を進める。
第3四半期	①事業は計画通り進捗している。懸念事項であった町道155号線については無事境界立会を行うことができた。また、同じく懸念事項であった町道100号線の用地契約については、進捗率75%であり順調である。 ②町道170号線の用地契約は進捗率75%であり、順調である。相手方の一部に、相続手続き等時間を要する見込があるため、繰越を見据えて管理を行う。 ③事業は計画通り進捗している。 ●事業は計画通り進捗している。一部工事材料の納期に時間を要する見込があるため、繰越を見据えて管理を行う。
総括 (第4四半期含)	①全事業について計画通り進捗した。町道155号線については懸念事項であった境界立会が完了できた。町道100号線については、用地契約率が80%で残り1名である。残り1名については、相続困難で時間要していたが、解決できたため、次年度早々に契約・完了見込である。 ②全事業について計画通り進捗した。町道170号線については、用地契約率が88%で残り1名である。残り1名については、公図の訂正が必要で時間を要しているが、解決見込であるため、次年度早々に契約・完了見込である。 ③全事業について計画通り進捗した。 ●全事業について計画通り進捗した。予定箇所は全て発注しており、一部工事材料の納期に時間を要しているが、繰越手続きを適切に実施し、次年度早々に工事完成の見込である。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 なし	国庫補助金や交付金を適切に活用し、歩行者や自転車が安心・安全に通行できる道路整備を進めていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】			課局名	建設課						
基礎目標		4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	快適で便利に暮らせる基盤づくりと土地利用の推進						
施策		下水道の整備・更新、事業の健全経営化	進捗状況	100%						
関連する優先目標		—	関連するSDGs	6水とトイレ	11まちづくり					
KPI		下水道整備率(町が目指しているもの)	本年度目標値	88	現状値	83.8(R5)	%	対前年同期比	+1.1	
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な 取組 内容	4月	①下水道築造事業(未普及解消) ・今年度工事に係る関係機関との調整並びに設計図書準備 ・供用開始及び受益者負担金賦課の告示		①②事業執行のための財源確保を行う。(4/28交付申請)今年度予定工事打合せ(4/12)、県認可ヒアリング(4/12)②増設工事(土建) 定例工程会議(4/13)③WEB打合せ						
	5月	②下水処理場整備事業(汚泥処理棟増設及び沈砂池ポンプ棟新設) 増設工事(機電)及び沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)の工程管理		①下水道供用開始告示(5/1)①②地方債ヒアリング(5/9)、R6交付金ヒアリング(5/26)、②定例工事会議(5/18)、③業務打合せ(5/1)						
	6月	③公営企業会計移行事業 仕様書に基づく業務の実施		①管渠工事の積算依頼。発注に向けて準備中。②汚泥処理設備・沈砂池(浄化センター) 試運転確認・工程会議(6/27)③コンサルと関係係との業務打合せ(6/20)、県内市町に移行に伴う人員について調査						
	7月	①下水道築造工事(未普及解消) 今年度工事に係る関係者への事業説明及び工事発注		①下水道工事関係者説明(7/28,30)、今年度工事発注(7/31)、工事説明(随時)②増設工事(機電)完了検査立会(7/25)、沈砂池ポンプ棟定例会議(7/26)③システム打合せ(7/6)、移行及びシステム業務調整打合せ(7/10)						
	8月	②下水処理場整備事業(汚泥処理棟増設及び沈砂池ポンプ棟新設) 増設工事(機電)及び沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)の工程管理		①県完了検査(8/22)、区画整理地内打合せ(8/29)、塙地内工事着工前打合せ(8/30)、②沈砂池ポンプ棟定例会議(8/24)、③職員募集広報依頼(8/10)、金融機関打合せ(8/17)、会計課打合せ、金融機関へ職員募集について周知(8/21)、Webセミナー(8/24)、移行打合せ(8/31)						
	9月	③公営企業会計移行事業 仕様書に基づく業務の実施		①工事工程会議(9/12)、工事立会(随時)、工事説明(随時) ②沈砂池ポンプ棟定例会議(9/21) ③職員書類審査(9/11) 地方公営企業セミナー(9/15, 21)						
	10月	①下水道築造工事(未普及解消) 工事に係る管理監督、区画整理地内の設計業務		①②県進行管理ヒアリング(10/10)、①工事工程会議(10/5)、区画整理地内設計打合せ(12/25)、工事立会(随時)、②沈砂池ポンプ棟定例会議(12/17)③地方公営企業セミナー(10/3, 11)、職員書類審査(10/13)、職員面接試(10/23)、会計課と打合せ(12/30)						
	11月	②下水処理場整備事業(沈砂池ポンプ棟新設) 沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)の工程管理		①工事工程会議(11/1)、工事立会(随時)、②沈砂池ポンプ棟定例会議(11/15)、③職員採用(11/1)、予算編成研修(11/1)、予算打合せ(11/28)						
	12月	③公営企業会計移行事業 仕様書に基づく業務の実施		①②県進行管理ヒアリング(12/5)、①工事完了検査(12/26)、区画整理地内下水設計打合せ(12/13)、②沈砂池ポンプ棟定例会議(12/12)、③システム設定(12/13)、金融機関、会計課との打合せ(12/14)、当初予算作成						
	1月	①下水道築造工事(未普及解消) 工事に係る管理監督、区画整理地内の設計業務		①下水道舗装復旧入札(1/26)、②沈砂池ポンプ棟定例会議(1/16)、工事業者打合せ(1/25)、③新年度予算作成システム入力(1/15, 29, 31)						
	2月	②下水処理場整備事業(沈砂池ポンプ棟新設) 沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)の工程管理		①舗装復旧工事契約、打合せ(2/6)、設計業務打合せ(2/16)、設計業務検査(2/19)②沈砂池ポンプ棟定例会議(2/13)、③下水道事業経営セミナー(2/7)、移行業務コンサル打合せ(2/13)、TKC打合せ(2/14、19)、会計課事務処理打合せ(2/22)、会計運用研修(2/29)						
	3月	③公営企業会計移行事業 仕様書に基づく業務の実施		①下水道舗装復旧工事地元説明(3/15)、管理監督打合せ(3/18)、舗装復旧現地確認(3/19)、③公営企業経営戦略研修(3/5)、TKC打合せ(3/7、25)、移行業務コンサル打合せ(3/15)、会計テスト伝送(3/26)						

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①年度内の工事完了を目標に事業を進めていく。6月末に今年度工区の積算が完了予定。今後、入札に向けて書類等の準備を進める ②定例の工程会議等により進捗管理を行う。計画どおり進捗しており、増設工事(機電)については7/25完了検査予定で進んでいる。 ③9月議会において条例改正を予定することになり、準備を進める。また、企業会計へ企業会計へ移行に向け、庁内外の関係部署との事務擦り合わせが必要である。職員追加のために他市町の状況を確認した。採用できるよう準備を進める必要がある。
第2 四半期	①今年度予定していた工事について発注が完了した。年度内に工事が完了するよう工程管理を行う。 ②定例の工程会議等により引き続き進捗管理を行う。 ③条例改正は議会で承認され、計画どおり進めることができた。 企業会計へ移行に向け、10月からの職員採用で募集をしていたが、採用に至らなかった。引き続きハローワーク、広報お知らせ版、町HPで周知して、11月からの採用を目指す。 次期からは、会計制度の構築、予算策定及び会計システム設定など、移行に関する業務が多くなる。
第3 四半期	①毎月工事工程会議において工事の進捗管理を行い、随時、現場での立会、確認を行ってきた。12/26に完了検査を受けることができ、工程どおり完成することができた。また、繰越事業である区画整理事業地内の管渠実施設計業務については、区画整理事業の進捗状況と併せて工期などの変更をした。また、業務が増えたことに伴い、新たに業務契約をし年度内に完了できるよう進める。 ②増設工事(機電)については、前期に完了した。 沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)については、提出されている工程表より若干の遅れはあるが、予定どおり進捗している。繰越見込みであるため、交付金における繰越の手続きを行う。10月からは電機設備の業務が契約になり2業者が設計等の準備を進めている。 ③足利銀行と会計課との詳細な会議を実施した。次期四半期においても引き続き打合せを行い、銀行との契約を進めることになる。公営企業としての会計規定を定める。企業会計システムが導入されたので、その使用方法、データ入力などを進める。11月からは会計年度任用職員が採用になったため、公営企業の業務を進められるよう環境づくりをする。新年度予算要求をしたので、それに伴い次期は予算説明書など公営企業としての予算書を作成する。
総括 (第4 四半期 含)	①舗装復旧工事を契約し現地調査を進めた。その結果、工期が不足することが判明し、工期延長に伴い翌年度への繰越工事となるため、工程管理を確認しつつ業務を滞りなく進める。区画整理事業地内の設計業務について完了し2/19に完了検査を受けることができた。 ②沈砂池ポンプ棟の工事について、来年度に繰越することになるため、①と同様に引き続き工程管理をしつつ業務が滞りなく進めることとする。 ③4月から公営企業となるため、移行処理が適切に行われたか確認しつつ、新たな会計処理を進める必要がある。併せて5年度事業について打ち切り決算となるため決算処理を早々に進める必要がある。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 なし	引き続き計画的に下水道の整備を行い、適切な維持管理をしていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】				課局名	建設課									
基礎目標		4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる		政策	快適で便利に暮らせる基盤づくりと土地利用の推進									
施策		地籍調査の推進と土地の適正かつ有効な活用		進捗状況	100%									
関連する優先目標		—		関連するSDGs	—									
KPI		地籍調査進捗率		本年度目標値	23.3	現状値	25.3(R5)	%	対前年同期比	+1.4				
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比					
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比					
		①年間計画(スケジュール・工程)				②実施内容・実績・成果								
主な取組内容	4月	①地籍調査事業 ・継続(前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ)・新規地区(前沢Ⅳ、 上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ)委託業務発注			①業務委託発注準備(積算) ・R5事業計画及び交付申請書提出(4/6) ・HP更新 ・国有林事前協議書提出(4/17)									
	5月	・業務完了地区(前沢Ⅰ、Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ)の認証請求書作成			①継続・新規地区業務委託発注 ・認証請求書作成 ・関東ブロック担当者講習会(5/30～6/2)									
	6月	・各関係機関との協議及び委託業者と打合せ(関係資料の準備)			①R6要望事業量調査提出(6/2) ・【大沢Ⅱ地区】認証請求書仮提出(6/13) ・継続・新規地区委託業者との打合せ(6/15) ・宇都宮財務事務所との協議(6/22)									
	7月	①地籍調査事業			①C2工程選点協議 ・土地所有者相続人等調査									
	8月	・前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ地区C工程選点協議及び工程管理 ・令和6年度事業国庫補助要望ヒアリング ・前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区FⅡ-2工程管理及び検査			①R6年度事業国庫補助要望ヒアリング(8/10) ・地籍調査事業説明会通知発送(8/9) ・C3～6工程管理 ・【大沢Ⅱ地区】認証請求書提出(8/17)									
	9月	・前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ地区地権者説明会 ・業務完了地区(前沢Ⅰ、Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ)の認証請求書作成			①業務委託変更発注 ・地籍調査事業説明会(9/2) ・地籍調査連絡会議(9/5) ・関東ブロック地籍調査実務研修会(9/8) ・FⅡ-2工程管理及び認証者検査(9/26) ・認証請求書作成									
	10月	①地籍調査事業 ・前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ地区(新規地区)C工程検査及びE工程(一筆地調査)実施、FⅠ2工程選点協議			①C7点検及び成果簿精査、C8実施者検査及びC9認証者検査(10/19) ・山本XⅢ地区地籍図、地籍簿提出(真岡法務局)									
	11月	・前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区(継続地区)、農業委員会(農転)協議及びG工程実施者検査			①E7工程一筆地調査(11月～12月)、FⅠ2選点協議。前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区農地転用地を農業委員会と協議。									
	12月				①E7工程一筆地調査(11月～12月)、G2現地点検(12/26, 27)及び簿冊、地籍図(案)の確認									
	1月				①地籍図案、地籍簿案の閲覧(1/20～2/11) ・G2、G3机上点検(1/15) ・G4実施者検査(1/15) ・G5認証者検査(1/16) ・H1～3工程点検(1/17) ・H4実施者検査(1/19)									
	2月	①地籍調査事業 ・前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区地籍図案、地籍簿案の閲覧(20日間) ・前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ地区E、FⅠ、FⅡ-1、FⅡ-2工程管理及び検査			①FⅠ5現地点検(2/1) ・FⅠ7実施者検査(2/6) ・FⅠ成果品精査 ・【大沢Ⅱ地区】地籍図案・地籍簿案提出(2/19)									
	3月	・前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区G、H工程管理及び検査 ・前沢Ⅱ地区認証請求書提出			①FⅠ8認証者検査(3/1) ・FⅡ-13、24辺長検査(3/4) ・H9実施者検査(3/4) ・H10認証者検査(3/6) ・前沢Ⅱ認証請求書提出(3/8) E工程成果品精査 ・E9実施者検査(3/12) ・E10認証者検査(3/15) ・FⅡ成果品精査 ・FⅡ-24実施者検査(3/19) ・FⅡ-25認証者検査(3/22) ・負担金確認検査(3/28)									

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①継続地区(前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅱ)の地籍図地籍簿作成業務委託及び新規地区(前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ)の測量業務委託については、計画通り各地区ごと測量業者に発注済みであり、引き続き適正な工程管理、検査に努める。また、関係機関(日光森林管理署、法務局真岡支局、財務事務所、真岡土木事務所、土地改良区等)との協議については、問題点があると思われる箇所は慎重に協議し、解消できるよう努める。
第2 四半期	①業務完了地区の大沢Ⅱ地区については県に認証請求書を提出済みであるが、前沢Ⅰ、Ⅱ、上大羽Ⅰ地区については、書類の精査に時間を要しており未提出である。書類が整いしだい提出する予定。 新規地区の前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ地区のC工程、E工程、継続地区のFⅡ-2工程とも予定通り実施中である。 地籍調査事業説明会は3地区合同(前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ)で開催。11月から予定している一筆地調査(境界確認)の準備を進めていく。
第3 四半期	①前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ地区については、C工程の基準点設置が完了。町及び県の完了検査実施済みであります。また、E工程の一筆地調査(境界確認)は11月から開始し、12月中旬で日程は終了しましたが、欠席者などにより境界確認ができなかった土地については日程調整をし、1月中には終了したいと考えています。 前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区の成果(地籍図・地籍簿)の閲覧について、関係機関と協議し、1月～2月実施に向けて、計画通り進めていく。 山本Ⅶ・ⅩⅢ・大沢Ⅰ地区について、国の認証承認を受けているが、山本ⅩⅢ地区については、法務局へ提出済みである。、山本ⅩⅦ地区及び大沢Ⅰ地区についても法務局と相談し早急に精査、提出をする。
総括 (第4 四半期 含)	前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ地区について、各工程の実施者検査及び認証検査を実施、修正や書類不備があったが、予定通りC～FⅡ工程が完了。再度成果品の確認をし、計画通りに業務を進めていく。 継続地区の前沢Ⅲ・上大羽Ⅱ・大沢Ⅲ地区について、G・H工程が計画通りに完了。地籍図(案)・地籍簿(案)の閲覧も滞りなく終了したため、認証請求に向け準備を進めていく。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総 括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 なし	計画的に地籍調査事業を推進していく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】				課局名	総務課					
基礎目標		4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる		政策	地域イメージの形成と定着					
施策		「ましこならではの」という価値の確立		進捗状況	100%					
関連する優先目標		—		関連するSDGs	—					
KPI	町公式SNSの年間「フォロワー」数			本年度目標値	160	現状値	834	人	対前年同期比	+292
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比	
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比	
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	①町公式SNSの投稿 各課へSNS(町公式Facebook・Instagram・Twitter)の投稿を依頼し、多くの記事を投稿してもらうことで町の事業等の周知を図り「フォロワー数」の獲得を目指す。			①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・Facebook(投稿 5件、フォロワー数の累計増加値 5人) ・Instagram(投稿 2件、フォロワー数の累計増加値 4人) ・Twitter(投稿 5件、フォロワー数の累計増加値 3人)					
	5月				①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・Facebook(投稿 13件、フォロワー数の累計増加値 13人) ・Instagram(投稿 0件、フォロワー数の累計増加値 25人) ・Twitter(投稿 6件、フォロワー数の累計増加値 9人)					
	6月				①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・Facebook(投稿 15件、フォロワー数の累計増加値 17人) ・Instagram(投稿 2件、フォロワー数の累計増加値 29人) ・Twitter(投稿 9件、フォロワー数の累計増加値 11人)					
	7月	①町公式SNSの投稿 各課へSNS(町公式Facebook・Instagram・Twitter)の投稿を依頼し、多くの記事を投稿してもらうことで町の事業等の周知を図り「フォロワー数」の獲得を目指す。			①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・Facebook(投稿 12件、フォロワー数の累計増加値 22人) ・Instagram(投稿 2件、フォロワー数の累計増加値 39人) ・Twitter(投稿 8件、フォロワー数の累計増加値 18人)					
	8月				①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・Facebook(投稿 14件、フォロワー数の累計増加値 27人) ・Instagram(投稿 1件、フォロワー数の累計増加値 52人) ・Twitter(投稿 9件、フォロワー数の累計増加値 29人)					
	9月				①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・Facebook(投稿 8件、フォロワー数の累計増加値 32人) ・Instagram(投稿 1件、フォロワー数の累計増加値 61人) ・X(旧Twitter)(投稿21件、フォロワー数の累計増加値 39人)					
	10月	①町公式SNSの投稿 各課へSNS(町公式Facebook・Instagram・X)の投稿を依頼し、多くの記事を投稿してもらうことで町の事業等の周知を図り「フォロワー数」の獲得を目指す。			①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・Facebook(投稿 9件、フォロワー数の累計増加値 36人) ・Instagram(投稿 1件、フォロワー数の累計増加値 79人) ・X(投稿13件、フォロワー数の累計増加値 54人)					
	11月				①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・Facebook(投稿 5件、フォロワー数の累計増加値 37人) ・Instagram(投稿 0件、フォロワー数の累計増加値 94人) ・X(投稿5件、フォロワー数の累計増加値 66人)					
	12月				①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・Facebook(投稿 12件、フォロワー数の累計増加値 36人) ・Instagram(投稿 4件、フォロワー数の累計増加値 99人) ・X(投稿 13件、フォロワー数の累計増加値 82人)					
	1月	①町公式SNSの投稿 各課へSNS(町公式Facebook・Instagram・X・LINE)の投稿を依頼し、多くの記事を投稿してもらうことで町の事業等の周知を図り「フォロワー数」の獲得を目指す。			①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・Facebook(投稿 9件、フォロワー数の累計増加値 48人) ・Instagram(投稿 3件、フォロワー数の累計増加値 115人) ・X(投稿 10件、フォロワー数の累計増加値 98人) ・LINE(投稿 11件、友だち数の累計増加値 211人)					
	2月				①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・Facebook(投稿 10件、フォロワー数の累計増加値 51人) ・Instagram(投稿 3件、フォロワー数の累計増加値 134人) ・X(投稿 8件、フォロワー数の累計増加値 100人) ・LINE(投稿 12件、友だち数の累計増加値 329人)					
	3月				①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・Facebook(投稿 7件、フォロワー数の累計増加値 61人) ・Instagram(投稿 4件、フォロワー数の累計増加値 153人) ・X(投稿 6件、フォロワー数の累計増加値 105人) ・LINE(投稿 14件、友だち数の累計増加値 515人)					

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼し、町公式SNSの年間「フォロワー数」数の増加に努めた。 引き続き各課へ記事の投稿を依頼していく。
第2 四半期	①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼し、町公式SNSの年間「フォロワー数」数の増加に努めた。 引き続き各課へ記事の投稿を依頼していく。
第3 四半期	①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼し、町公式SNSの年間「フォロワー数」数の増加に努めた。 1月からLINEによる情報発信を開始。引き続き各課へ記事の投稿を依頼していく。
総括 (第4 四半期 含)	①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼し、町公式SNSの年間「フォロワー数」数の増加に努めた。 1月からLINEによる情報発信を開始。引き続き各課へ記事の投稿を依頼していく。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 なし	引き続き、各課へ町公式SNSへの記事の投稿を促し、町公式SNSの年間「フォロワー数」数の増加に努めていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】			課局名	観光商工課							
基礎目標			4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	地域イメージの形成と定着						
施策			「ましこならではの」という価値の確立	進捗状況	100%						
関連する優先目標			—	関連するSDGs	—						
KPI			町公式SNSの年間「フォロワー」数	本年度目標値	160	現状値	834	人	対前年同期比	+292	
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
			①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な 取組 内容	4月	②地域の魅力を体験できる観光イベントの開催を支援する			② 4/15 ソラマチとちまるショップにて春の陶器市の周知イベントを開催。4/20 BSよしもと番組「となりマッチ」に出演し、益子町の紹介と陶器市のPRを行った。						
	5月				なし						
	6月				なし						
	7月	②地域の魅力を体験できる観光イベントの開催を支援する			なし						
	8月				なし						
	9月				② 9/23.24米沢市なせばなる秋まつりにて観光PRを実施。						
	10月	②地域の魅力を体験できる観光イベントの開催を支援する			② 10/20 渋谷QWSにて陶器市PRを実施。町内在住の陶芸家2名のろくろ実演とトークセッションを行った。						
	11月				なし						
	12月				なし						
	1月	②地域の魅力を体験できる観光イベントの開催を支援する			なし						
	2月				② 2/7～13 大阪神梅田の『MASHIKIO POTTERS IN HANSHIN』にて観光PRを実施。						
	3月				なし						

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	② とちまるショップにて陶器市周知、BSよしもと番組に出演し春の陶器市のPRを行った。今後も様々な方法でPRを行っていきたい。
第2 四半期	② 米沢なせばなる秋まつりにて観光PRを実施し、道の駅ましこの商品も販売した。道の駅商品の販売を足がかりに益子町をPRすることができた。今後も各種イベント等で積極的に町をPRしていきたい。
第3 四半期	② 渋谷QWSにて陶器市PRを実施。町内在住の陶芸家のろくろ実演とトークセッションを行うことでより多くの方に興味を持っていただき、PRすることができた。今後もPR方法については検討していきたい。
総括 (第4 四半期 含)	② 東京、山形県、大阪府のイベントにて観光PRを実施した。益子町の名前が届きにくい東北、関西地方でPRすることができた。今後もPRの機会があれば積極的に行っていく。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 なし	関西圏での知名度向上や外国人観光客の誘致等、県内外での各種イベント・キャンペーンにて、今後も積極的なPRを行っていく。